

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	大阪府	市町村名	堺市	大学名	
派遣日	令和2年 7月27日(月曜日) 13:30~16:30 ※派遣当日の日程を詳細に記入してください。 ※派遣当日の次第、研修実施要項・日程表等、日程の詳細が分かる資料を添付してください。				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣    / <input type="checkbox"/> 遠隔				
派遣場所	堺市役所 本館地下1階多目的室				
アドバイザー氏名	櫻井 敬子さん				
相談者	堺市教育委員会事務局学校教育部人権教育課、文化観光局国際課 子ども青少年局子ども育成課				
相談内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国の動向</li><li>・ プレスクール施策及び未就学児や保護者への支援に関する実践事例</li><li>・ 生活言語能力児童生徒と学習言語能力児童生徒への支援指導体制</li><li>・ 母語のわかる支援員派遣</li><li>・ ICT を活用した学力保障の可能性</li></ul>				
派遣者からの指導助言内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 浜松市の現状と課題、施策について伝達いただくなかで、市として外国人児童生徒(保護者)へのトータル的な支援がどのようにできるかなどの助言をいただいた。浜松市外国人子供支援協議会等、組織、地域のつながりについてもお話しいただいた。</li><li>・ 学習言語能力児童生徒への支援については、学校教員の意識の改革が必要であることなど、浜松市と共通の課題を見出すことができた。</li><li>・ プレスクールの目的や運営について、浜松市がプレススクールを立ち上げる際のエピソードを通して具体的に課題点等もお話しいただいた。また他市のプレススクールの状況もお伝えいただいた。</li></ul>				
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 外国人子供支援協議会等市単位で総合的に施策を考えていくことができる連携。</li><li>・ 定住外国人ロールモデルの活用や学校での国際理解教育のさらなる推進を行う等、外国人児童生徒や保護者が夢と希望をもって日本社会で過ごしていけるような施策の展開。</li><li>・ 学校現場でのやさしい日本語の研修やマニュアルの作成の必要性、ICT の積極的な取入れ。</li><li>・ プレスクール導入の必要性。</li><li>・ 各種マニュアルや啓発リーフレットの作成。</li><li>・ 日本語指導の観点での教員育成の仕組み作り。</li></ul>				

1枚にまとめる必要は、ありませんので、詳細に記載願います。なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。